

小中一貫目標「明日をひらき のびゆく 輝多っ子」



学校教育目標 「自立・創造・貢献」

高萩北中だより

令和4年4月11日 第1号



考えよう
家族みんなで
スマホのルール
私たちが子供の成長をより豊かにするために
日高市立高萩北中学校



令和4年の新学期スタートです

校長 島津 芳久

この春、新入生130名が入学し、全校生徒385名・教職員38名で、本年度の教育活動がスタートしました。4月当初の肌寒さとは打って変わって暖かな日差しの中で、少し緊張気味の1年生と、保護者の皆様、3年ぶりにお招きできたご来賓の方々に入学式を挙行了しました。また、今年度からご来賓として、学校運営協議委員の皆様にも出席していただきました。

さて、学校の教育活動は、保護者、地域の皆様と教職員、生徒が互いに理解し、協力し合う中で効果が高まると考えています。本校ではこれまでも様々な教育活動に、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただいていると聞いております。今

年度も、今まで同様よろしくお願ひいたします。また、今年度も学校の教育目標として「**自立・創造・貢献**」を掲げ、“熱いぞ北中！”を合い言葉に教育活動を進めてまいります。

遅くなりましたが、4月から校長として着任いたしました島津芳久と申します。昨年度はお隣の高萩中学校に勤めていましたので、いろいろな角度から高萩北中を見ていました。これまでの経験を生かして学校経営を進めていきますので、よろしくお願ひします。

「高萩の花になろう」 入学式式辞要旨

日高市の花である萩の花のことを皆さんはどのくらい知っていますか。今は、曼珠沙華に少し押し気味ですが、42年前、まだ日高市が日高町だったころ、日高町の象徴としてふさわしく、郷土愛を深めることができる「花と木と鳥」を選ぶために、町民の皆さんで投票を行いました。その結果、町の花として最も多くの票を集めたのが萩の花でした。萩の花は根元から新しい芽が毎年出て来ます。また、ほかの植物が成長できないような荒れた土地にもいち早く根づくことができる「パイオニア植物」と呼ばれています。パイオニアとは、先駆者や開拓者、草分けという意味の言葉です。わかりやすくいえば「誰よりも早く物事を始める人」や「新しい領域を切り開く人」という意味です。新入生だけでなく全校生徒が、高萩北中学校での勉強や生活を通して、このパイオニア精神を身につけてもらいたいと思います。

そのためには、皆さんの勉強や部活動などを指導してくれる、先輩や地域の方々はもちろんのこと、学校に送り出してくれる保護者の方々など全ての人へ感謝の気持ちをもってください。また、本校には総勢38名の教職員がいます。それぞれが自分の経験や特徴を活かし皆さんに接してくれます。皆さんが求めればいくらでも応えてくれます。待っているのではなく、積極的に先生方に話しかけて、いろいろなことを吸収するようにしてください。